

## 南極レポート（最終回） さようなら 昭和基地

昨年2月1日より私達48次隊は越冬業務を引き継ぎ、早速2月18日には8J1RL局を運用開始した。

日本国内では2006年11月より2007年3月まで、観測隊OB、関係者による南極観測50周年記念局8J1ANTの運用が国内を移動して行われ、8J1RL局と毎月の記念交信が悪コンディションの中実施された。

例年行われている子供の日特別運用（48次で実施したJA1RL、JA3RL、JA7RL）や、関西アマチュア無線ハムフェスティバルにテレビ会議システムを利用した南極教室（JARL事務局、関西ハム）を、8J1RL運用と同時に行った。当日の電波伝搬状態が不透明であるが、衛星利用の南極教室は確実性がある。更にリアルタイムの映像など同時進行であるため運用効果が大きく、子供たちは南極からの映像、質問など興味を示してくれた。

6月16日、50年前第1次南極観測越冬隊として参加されたJA1JG作間OMと、メモリアル交信が行われた。第48次隊としても、第1次隊の大OMとこの様な50周年の節目の記念すべき形として残すことが出来ました。

EUからのスケジュールQSO時には、JA方向に固定されている八木アンテナのため、タワーに登ってアンテナの方向を修正し対応した。

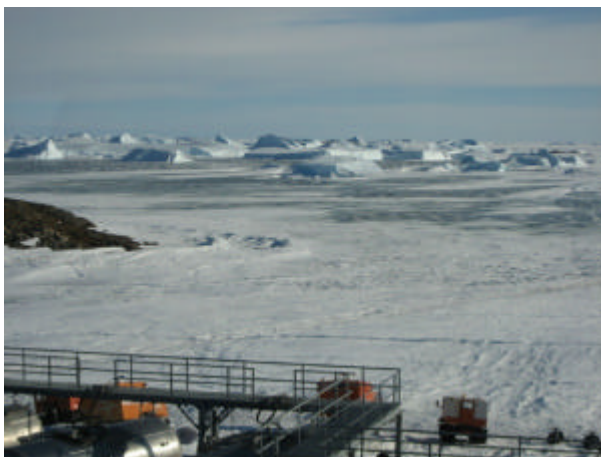


写真2：夏を迎えた基地前の海氷



写真1：8J1RLアンテナ さようなら

サイクルボトムの中21MHzより上はQSOなし、10MHz以下もアンテナの関係上運用実現できなかった。また、信号強度も弱く多くのQSOがCWで行われた。交信結果は約50エンティティー2300QSOしました。運用した8J1RLの交信証は、今年3月帰国後、4月以降にJARLより転送されますのでお待ちください。運用ログは毎月にJARLのHP南極レポートに掲載しております。QSOできなかった局は49次隊においても8J1RLの運用が予定されています。サイクル24の上昇とともに期待しましょう。

48 次隊 8J1RL 運用員一同、南極昭和基地より越冬中アマチュア無線を運用できたことは、(社)日本アマチュア無線連盟、国立極地研究所、関係各位の協力支援、理解により実施することが出来ました。ここに深く感謝いたします。

73,88(さようなら) 昭和基地。



写真3:8J1RL 交信証

( 第 48 次日本南極地域観測隊 若生公郎 JH7QLR 2008 年 1 月 22 日 )